

多層階対応の清掃ロボット等によって、清掃業務の稼働を軽減する ～白玉の湯 華鳳様の取組事例～

カテゴリー  清掃業務

施設情報

施設名 白玉の湯 華鳳

客室 126室

創業年 1997年

課題の背景

- 施設の規模が大きく多層階のため、移動の負荷がかかる業務を省人化したい

導入ソリューション

清掃ロボット

- エレベーターと連携して人の手を使わずに、事前に設定したルートを自動で清掃。
- 各階ごとに清掃ロボットを配置する必要がなく管理稼働が少ない。

配膳ロボット

- ロボのキャビネットに収納することが可能。
- フロントから指定した客室へ、レンタル備品を配送することができる。



課題

期待する効果

施設の共有スペースの清掃が施設全体として1日18時間(4人×4.5時間)の業務負荷となり、大きな負担となっている。

共有スペースの清掃をロボットで対応。細かい箇所の清掃に人員を割くことで効率化および、きれいな施設の状態を図る。



貸出発注があった場合、都度人の手によって客室まで運ぶ必要があり、業務が中断されてしまい、人材が不足している。

人員が不要となり、その分お客様対応に人員を振り分けることが可能となる。



導入による効果

- 共有スペースの清掃業務を1日約18時間の削減できた。
- 貸出アイテム運搬業務を1日約1.6時間の削減できた。
- フロントに従業員が常駐できるようになり、顧客対応を向上できている。
- 負担の大きい単純業務から、従業員がおもてなし業務にシフトした。
- エレベーターとの連携を実現し、移動コストを削減できた。

